２日間で２万人が来場！

１００団体が出展！自然を楽しく体験できる関西最大級規模イベント

自然関連のサークルや地域の自然保護団体等が一堂に会して出展するイベントです。 自然が楽しく知れる展示やワークショップ、講演会、バードウォッチングなども開催。 子どもから大人までが自然を知る・学べる場になっています。

昨年、一昨年と、新型コロナ禍のために開催されませんでしたが、今年は、３年ぶりに大阪市立自然史博物館で開催されます。

「鉢ヶ峯の自然を守る会」は、２０１８、２０１９年と２年続けて、ブースを出展して来ました。今年も、出典する様に準備しています。

会場の風景

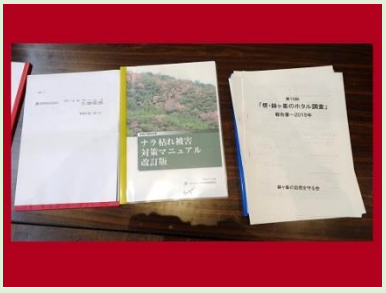
出展風景

クラフトの例

２０１９年の様子

出展風景

里山の紹介



資料の展示

２０１８年の様子

開催日	**2022年11月19日(土) ～ 20日(日)**
主催	大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター関西自然保護構
協賛	協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、興和オプトロニクス株式会社、ハクバ写真産業株式会社
協力	大阪市立自然史博物館友の会、公益社団法人大阪自然環境保全協会、磐田市竜洋昆虫自然観察公園、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会大阪支部
会場	大阪市立自然史博物館

大阪自然史フェスティバルでの「鉢ヶ峯の自然を守る会」の出展内容～活動紹介の例～

出発

里山風景

生きもの（アカハライモリ）

4 月「里山一斉調査」

集合

ゲンジボタル

ヘイケボタル

6 月「ホタル観察会」

説明

トンボ釣り

トンボ（ヤブヤンマ）

7 月「トンボ釣り大会」

観察風景

ヨシ原

ツバメ

8 月「ツバメの塒入り観察会」

どんぐり飛ばし

クラフト

どんぐりの試食

１０月「どんぐり祭り」

天濃池

講義風景

地元の高校生

１１月「天濃池ビオトープの会」

卵塊

幼体

成体

２～４月「ヤマトサンショウウオ調査」

コナラ林

作業風景

コナラ芽吹き

４月「コナラ林・クヌギ林の手入れ」

この他にも、「ナラ枯れ調査」「ホタル調査」等の活動を紹介しました。

「大阪自然史フェスティバルで出会える団体」とお勧めの「シンポジウム」

出展団体

芥川倶楽部＆あくあぴあ芥川、アトリエリジッタ、AROMA TRUNK、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、芋活.com、うみハマ～深い海にハマる～、株式会社LFOR、大阪エソロジーの会、大阪公立大学恐竜愛好会ジェラシックパー君、大阪市エコボランティア・大阪市環境局、公益社団法人大阪自然環境保全協会、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館友の会、大阪石友会、大阪府、大阪変形菌おっかけ隊、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、オープン座セサミ、御菓子司津村屋、お拾いもの、関西自然保護機構、関西バードカービングクラブ、きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会、きのこ好きのためのキノコサロン、協栄産業株式会社、NPO法人共生の森、近大ホネホネ団と(株)アクアテイメント、ぎんぺーのしっぽ、くまばち造形雑貨店、株式会社ケンコー・トキナー、興和オプトロニクス株式会社、一般社団法人小清水町観光協会、Scentific Idea、さえずり本舗、堺自然観察会、堺自然ふれあいの森、segasworks、NPO法人弱視の子どもたちに絵本を、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ジュニア自然史クラブ、知床ウトロ海域環境保全協議会、特定非営利活動法人すいた市民環境会議、ZUCKER、谷口高司鳥絵工房、丹波竜化石工房「ちーたんの館」、TEAM魚っしょい！、地学団体研究会大阪支部、鳥類標識調査グループ・関西、鶴見緑地カワセミの会、てこぽこさんとはくぶつかん、友の会読書サークルBooks、なにわホネホネ団、錦織公園フォレスター、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク、西宮市貝類館、特定非営利活動法人日本チョウ類保全協会、日本バードカービング協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会大阪支部、日本野鳥の会京都支部、根室市観光協会、NOTARI、BIRD CREATE、HakuiKeiko、ハクバ写真産業株式会社、鉢ヶ峯の自然を守る会、はねはね団、浜寺公園自然の会、PIZZA ROTOLO、兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県立大学淡路キャンパス）、piyopiyobrand、枚方いきもの調査会、びわこベース、Fenrir-ulfr、PuPuPu Petit a Petit、骨好き中学校教員の会、まーりん工房、marumo、認定NPO法人緑の地球ネットワーク、南大阪昆虫同好会、木象嵌こばみつ亭、森の工房ばんどり、野鳥生活、やんばる・いちむし堂、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク（50音順）

＜11月20日（日）＞
シンポジウム「夢洲・大阪湾岸の水鳥の渡来環境の保全・回復を目指して」

2025年大阪関西万博の開催地である夢洲の水鳥の渡来地としての重要性を改めて見つめ、夢洲を含めた大阪湾岸のシギ・チドリなどの水鳥の渡来環境をどのように保全し、回復していくかを考えます。

日　　時：11月20日（日）　14：00～16：30
会　　場：自然史博物館　講堂
参 加 費：無料
定　　員：先着170名
講　　師：渡辺綱男氏（IUCN-J会長）
　　上田恵介氏（公益財団法人　日本野鳥の会会長）
　　高田直俊氏（公益社団法人　大阪自然環境保全協会前会長）
　　納家　仁氏（日本野鳥の会大阪支部長）ほか
主　　催：日本野鳥の会大阪支部・大阪自然環境保全協会